

令和4年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施事業の効果検証

No	事業名	総事業費	交付金 充当額	事業開始 年月日	事業完了 年月日	事業内容	事業効果
1	庁舎出退勤管理システム導入事業	6,495,000	6,412,000	R4.5.2	R5.1.6	記述式の出退勤管理から非接触型のシステムを導入することにより、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止を図る。 ・システム構築費:4,015千円、パッケージ費:2,002千円、関連経費:478千円 合計:6,495千円	役場庁舎、特別養護老人ホーム及び保育所職員を対象とした非接触型システムの導入により、職場内における感染拡大の防止が図られている。また、クラスターの発生件数は0件で、12月1日の本稼働から年度末までの間、継続的に業務を遂行することができた。
2	JAL DE パンプキンキャンペーン事業	988,000	988,000	R4.4.1	R5.1.27	コロナ禍の影響により利用者が減少している航空事業者と連携し、航空便の利用喚起により観光誘客数の増加を図る。 ・報償費:43千円、需用費:914千円、車借上:31千円 合計:988千円	航空会社と連携し、国内39空港で町のPRと航空会社の利用喚起を行い、新型コロナウイルス感染症の収束後にに向けた誘客活動を実施することができた。
3	役場庁舎wi-fi整備事業	1,628,000	1,600,000	R4.5.13	R4.9.13	庁舎内の通信環境を整えることで、限定された場所でのオンライン会議から、自席でも対応できるようになり、コロナ禍における情報収集や発信する機会を拡大する。 ・物品費(アクセスポイント5箇所、ルータ1台、給電HUB):974千円、工事費(LAN配線):416千円、設計費:238千円 合計:1,628千円	頻繁に通信速度が遅くなるなど不安定な施設内通信環境を根本的に改修し、コロナ禍における情報の収集や発信を行い、業務の迅速化や継続性を確保することができた。
4	サロマ斎場東側出入口設置工事	1,034,000	1,000,000	R4.8.9	R4.11.4	サロマ斎場の玄関は西側1箇所であるが、出入口を東側に1箇所追加設置することで、複数葬儀の際に遺族同士が対面する機会を減らすとともに、換気環境を改善することにより、新型コロナウイルス感染症の感染リスクを抑制する。 ・アルミ建具:863千円、諸経費:171千円 合計:1,034千円	新たな動線を確保し、遺族同士の接触機会を減らすことで、感染リスクを低減させ、施設利用を起因とする感染をゼロとすることができた。
5	サンガーデンさろまデイサービスセンターエアコン設置事業費補助金	2,858,000	2,800,000	R4.5.9	R4.6.22	新型コロナウイルス感染症対策として、施設利用者の感染防止対策の徹底と熱中症を予防するために整備する換気機能を保持するエアコン設置費用を助成する。 ・エアコン設置費(大型2基、中型1基、取付工事)補助:2,858千円	換気機能付きエアコンを3基設置し、利用環境が向上することで熱中症対策にもつながり、利用者のクラスター発生を防ぐとともに、快適な環境を提供する支援ができた。
6	若佐保育所・浜佐呂間保育所エアコン設置工事	2,266,000	2,200,000	R4.4.18	R4.8.31	新型コロナウイルス感染症対策として、換気機能を保持するエアコン設置により、園児の感染防止対策の徹底と熱中症を予防する。 ・エアコン設置(中型3基):2,266千円	換気機能付きエアコンを設置し、利用環境を向上させることにより、園児や職員のクラスター発生ゼロを目標とし、保育業務を継続できた。 ※休所日数0日
7	クリニックさろま電子カルテ機器等購入事業	56,298,000	12,700,000	R4.4.28	R4.5.27	コロナ禍において、町内唯一の医療機関の医療体制強化を図るとともに、非接触型の決済システムの導入により、感染防止体制を強固にする。 ・電子カルテ機器:17,981千円、予約システム:3,430千円、自動精算機:7,893千円、検診システム:1,532千円、全自動血球測定機:6,785千円、放射線画像管理:13,290千円、検査管理サーバー:1,231千円、フラッシュディスクインフェクター:1,872千円、運用サポート等:2,284千円 合計:56,298千円	マイナンバーカード対応や非接触型の機器の導入により、受付事務体制の向上が図られ、非接触による決済システムを導入したことにより、感染リスクを抑える事が可能となり、外来患者の施設利用におけるクラスター発生は起きなかった。
8	プレミアム付全町共通商品券事業補助金(上期)	53,919,000	28,663,000	R4.5.8	R4.11.7	コロナ禍における感染拡大の影響により各商店、事業所の売上が低迷しており、また、物価上昇による各世帯の家計への影響が顕在する中で、地域経済の回復や消費を下支えするため、プレミアム付き商品券を発行する。 ・商品券代:5,000円×10,684冊(53,420千円)、印刷費:555千円、手数料:100千円、未使用分返還:△156千円 合計:53,919千円	新型コロナウイルスの感染拡大や原油価格・物価高騰により疲弊した地域経済の回復を図るため、プレミアム商品券を発行し、地域内消費回帰に160,758千円以上の効果があった。
9	プレミアム付全町共通商品券事業補助金(下期)	25,699,000	7,030,000	R4.10.2	R5.1.31	コロナ禍における原油価格や物価高騰の影響により各商店、事業所の売上が低迷し、また、各世帯への生活に影響が大きい中で、地域経済の回復や消費の下支えを行うため、プレミアム付き商品券を発行する。 ・商品券代:5,000円×11,315冊(56,575千円)、印刷代:573千円、手数料:100千円、未使用分返還:△123千円 合計:57,125千円 ※交付金(R3補正分(通常分)):7,030千円充当 【No.10、21と同事業】	新型コロナウイルスの感染拡大や原油価格・物価高騰により疲弊した地域経済の回復を図るため、プレミアム商品券を発行し、地域内消費回帰に170,274千円以上の効果があった。(No.10,21と同事業)
10	プレミアム付全町共通商品券事業補助金(下期:R4年度予備費分)	13,435,000	13,435,000	R4.10.2	R5.1.31	コロナ禍における原油価格や物価高騰の影響により各商店、事業所の売上が低迷し、また、各世帯への生活に影響が大きい中で、地域経済の回復や消費の下支えを行うため、プレミアム付き商品券を発行する。 ・商品券代:5,000円×11,315冊(56,575千円)、印刷代:573千円、手数料:100千円、未使用分返還:△123千円 合計:57,125千円 ※交付金(R4予備費分):13,435千円充当 【No.9、21と同事業】	新型コロナウイルスの感染拡大や原油価格・物価高騰により疲弊した地域経済の回復を図るため、プレミアム商品券を発行し、地域内消費回帰に170,274千円以上の効果があった。(No.9、21と同事業)
11	佐呂間町観光デジタルポータルサイト整備・利用促進事業	9,105,000	9,100,000	R4.9.15	R5.3.31	コロナ禍で落ち込みの著しい観光客入込数を回復させ、収束後の誘客増につなげるため、デジタルマップやVRコンテンツを充実させる。 ・マップコンテンツ企画立案等:2,574千円、SNS企画・運用・利用促進ツール等:6,531千円 合計:9,105千円	観光客誘致に向けたデジタルポータルサイトの構築により、観光産業の入込数をコロナ禍前(195千人)以上を目標とし、観光客入込数回復に向けたポータルサイトPRに加え、交流人口増加に向けたラインアカウムの募集により、登録者1,000名を超え、定期的に地域観光物産情報を配信することで、経済回復に寄与している。

令和4年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施事業の効果検証

No	事業名	総事業費	交付金 充当額	事業開始 年月日	事業完了 年月日	事業内容	事業効果
12	道の駅物産館みのり換気設備改修工事	3,300,000	3,300,000	R4.6.30	R4.9.27	コロナ感染防止対策に必要な風量基準値を有する設備に改修することで換気対策を万全とし、観光客が施設を安心して訪れることができる。 ・業務用ロスナイ(2基)、ダクト換気扇(6基)設置:3,300千円	換気機能の向上による安全安心な環境整備を進め、施設利用者間でのクラスター発生を抑制でき、効果的な換気が可能となり、感染防止に役立っている。
13	社会科副読本「さろま」作成事業	3,058,000	3,000,000	R4.4.25	R5.3.31	コロナ禍において、社会科副読本を電子化することにより、GIGAスクール構想にて導入した機器を最大限に活用し、新型コロナウイルス蔓延時における遠隔授業に対応できる。 ・社会科副読本電子化一式:3,058千円	デジタル教科書と同様に、各自の端末で閲覧でき、小学校3～4年生56名の学びを保障することができた。
14	GIGAスクール端末運用保守業務委託	2,225,000	2,200,000	R4.4.1	R5.3.31	コロナ禍において、学びの保障を確約できる環境を整えるため、専門技術者によるネットワーク保守と運用支援を行う。 ・小中学校ネットワーク保守:1,248千円(4校)、端末運用支援:977千円(4校) 合計:2,225千円	GIGAスクール構想により整備した端末を活用し、感染拡大時の遠隔授業を想定し、義務教育における児童生徒307名、教職員54名全員の使用端末の保守をすることができ効果的であった。
15	各学校職員室エアコン設置工事	3,806,000	3,800,000	R4.4.18	R4.8.2	新型コロナウイルス感染症対策として、換気機能を保持するエアコンを職員室に設置し、教職員の感染防止対策の徹底と熱中症を予防する。 ・佐呂間小学校(1基)、浜佐呂間小学校(1基):2,607千円、佐呂間中学校:1,199千円(1基) 合計:3,806千円	町内各小学校3校及び中学校1校の職員室に換気機能付きエアコンを設置し、夏場や冬場の室内環境を向上させ、新型コロナウイルス感染症の感染拡大を抑制することができ効果的であった。
16	温水プール更衣室トイレ改修工事	803,000	803,000	R4.11.15	R5.3.3	新型コロナウイルス感染症対策として、武道館温水プールの更衣室内トイレを和式から洋式に改修し、蓋閉めによるウイルスの飛散防止を図り、安全な利用環境を整備する。 ・トイレ改修(2か所):803千円	洋式トイレに改修し、安全・安心な環境整備を推進できたことにより、施設利用者からのクラスター発生をゼロにできた。 ・プール開設日数:23日(R5.5.2日～R5.5.31の間) ・クラスター発生回数:0回
17	トレーニングルームエアコン設置工事	2,310,000	2,300,000	R4.4.18	R4.8.31	新型コロナウイルス感染症対策のため、換気機能を保持するエアコンをトレーニングルームに設置し、利用者の感染防止対策の徹底と熱中症を予防する。 ・エアコン設置(大型1基工事費込み):2,310千円	換気機能付きエアコンを設置することで、利用環境が向上し、施設利用者が増加した中において、クラスター発生をゼロとすることができた。 ・トレーニングルーム開設日数:215日(R4.9.1～R5.5.31の間) ・クラスター発生回数:0回 ・利用環境向上によるトレーニングルーム利用者の増加:利用人数4,477名(R3.9.1～R4.5.31:3,674名)
18	新型コロナウイルス対策協力負担金	10,000,000	10,000,000	R4.4.1	R5.3.31	町立病院の指定管理事業者が新型コロナウイルス感染症の影響を受けて収支が悪化したことから、町内唯一の病院の診療を継続させるために支援する。 ・減収した診療報酬の1/2を支援:△20,000千円×1/2=10,000千円	新型コロナウイルス感染症の発症が影響し、利用患者の減少によりクリニックさろまの減収した診療報酬の2分の1を支援することで、医療体制の維持が図られ、医療提供を安定化させる事ができた。
19	新型コロナウイルス感染症対策給付金	1,000,000	1,000,000	R4.4.1	R5.3.31	町内の医療機関や福祉事業所などで、感染症対策を実施している10事業者に対し、感染症対策経費として給付金を支給する。 ・給付金:10事業所×100千円=1,000千円	不特定多数が訪れる医療機関、介護施設等々に対して給付金を支給し、感染症対策が講じられたことにより、個別の感染及びクラスター等の発生を防ぐ等、効果があった。
20	高齢者世帯等生活支援事業費補助金	6,108,000	3,290,000	R4.9.14	R5.3.31	コロナ禍による高齢者世帯や障がい者世帯等における物価高騰対策として、一律12千円を支給する。 ・509世帯×12千円=6,108千円	物価高騰の影響を受ける高齢者世帯等に支援を行うもので、対象509世帯に支給することにより、生活安定化を図ることができた。
21	プレミアム付全町共通商品券事業補助金(下期:重点支援分)	17,991,000	17,991,000	R4.10.2	R5.1.31	コロナ禍における原油価格や物価高騰の影響により各商店、事業所の売上が低迷し、また、各世帯への生活に影響が大きい中で、地域経済の回復や消費の下支えを行うため、プレミアム付き商品券を発行する。 ・商品券代:5,000円×11,315冊(56,575千円)、印刷代:573千円、手数料:100千円、未使用分返還:△123千円 合計:57,125千円 ※交付金(R4電力・ガス・食料品等物価高騰重点支援分):17,991千円充当 【No.9、10と同事業】	新型コロナウイルスの感染拡大や原油価格・物価高騰により疲弊した地域経済の回復を図るため、プレミアム商品券を発行し、地域内消費回帰に170,274千円以上の効果があった。(No.9、10と同事業)
22	新型コロナウイルス感染症対策給付金(重点支援分)	2,000,000	2,000,000	R4.10.31	R5.3.31	コロナ禍において物価高騰の影響を受けている町内の医療機関や福祉事業所などの10事業者に対し、事業活動の維持・継続を促進するため、物価高騰に対する支援を行う。 ・給付金:10事業所×200千円 合計:2,000千円	物価高騰に対する経費を支援し、各事業所の体制維持を図り、施設利用における新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐことができた。
23	簡易水道使用料の基本料金減免(物価高騰対策)	12,641,000	12,641,000	R4.10.31	R5.2.28	コロナ禍において原油価格などの物価高騰の影響を受けている生活者支援として、水道料金の基本料金を3か月間減免する。 ・減免額:12,640,650円(12月～2月分)÷3=4,213,550千円	原油価格高騰による物価高騰の影響を受けている町内の水道利用世帯(減免期間の平均件数2,013件)に対し、令和4年12月～令和5年2月分の水道基本料金(合計12,640,650円)を減免する支援を行い、生活費を低減することで生活の安定化が図られた。

令和4年度 新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時交付金 実施事業の効果検証

No	事業名	総事業費	交付金 充当額	事業開始 年月日	事業完了 年月日	事業内容	事業効果
24	酪農・畜産経営安定対策給付金	13,050,000	9,855,000	R4.10.31	R5.3.31	コロナ禍における物価・飼料高騰による生産コストの増加に伴い、経営に影響が出ている酪農・畜産農家に対する支援を行い、経営の継続と安定化を図る。 ・事業費：87件×150千円＝13,050千円	物価高騰によりコストが増加している農家87件の生産体制の維持を図り、予定していた87件（@150千円）計13,050千円を補助し、物価高騰によるコストの増加に対し生産体制の維持を図った。
25	簡易水道使用料の基本料金減免 (物価高騰対策)	4,885,000	4,885,000	R4.10.31	R5.2.28	コロナ禍において原油価格などの物価高騰の影響を受けている事業者支援として、水道料金の基本料金を3か月間減免する。 ・減免額：4,884,590円(12月～2月分)≒4,885千円	原油価格高騰による物価高騰の影響を受けている、町内の水道利用事業者(減免期間の平均件数373件)に対し、令和4年12月～令和5年2月分の水道基本料金(合計4,884,590円)を減免する支援を行い、経費の低減により事業の継続と安定化が図られた。
26	学校保健特別対策事業費補助金	3,600,000	1,800,000	R4.4.1	R5.3.31	コロナ禍における教育活動の継続のため、各種感染防止策を講じ、児童生徒の健康と学びを保障する体制を堅持する。 ・事業費：3,600千円【内訳】国庫補助金：1,800千円 地方単独事業分：1,800千円	児童及び生徒の健康と学びの保証をする体制の整備を図るため、空気清浄機や消毒液等を購入整備し、感染防止対策ができ、衛生環境の徹底努めることができ効果的であった。
27	学校保健特別対策事業費補助金	560,000	280,000	R4.12.12	R5.3.31	コロナ禍における教育活動の継続のため、各種感染防止策を講じ、児童生徒の健康と学びを保障する体制を堅持する。 ・事業費：560千円(上記事業の変更申請)【内訳】国庫補助金：280千円 地方単独事業分：280千円	児童及び生徒の健康と学びの保証をする体制の整備を図るため、空気清浄機や消毒液等を購入整備し、感染防止対策ができ、衛生環境の徹底努めることができ効果的であった。
28	疾病予防対策事業費等補助金	407,000	13,000	R4.10.7	R5.3.31	国が実施する風疹の予防接種機会が無かった世代への抗体検査やワクチン接種がコロナ禍の影響で鈍化し、2024年度まで延長されたことに伴い、ワクチン接種の無料クーポン券を配布し接種率を向上させ、風疹の流行を防ぐ。 ・事業費：407千円【内訳】国庫補助額：203千円(うち交付金13千円)	新型コロナウイルス感染症の影響により鈍化した風疹ワクチン未接種世代370名に対し、風しん抗体検査、予防接種無料クーポン券を送付し、うち令和4年度の抗体検査実施17名、ワクチン接種5名となり、風疹の流行を予防する取組ができた。
合計		261,469,000	165,086,000				